

東大野球部

New! メールマガジン



1月～12月

木枯らし吹きすさぶ頃となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年も残すところあと数日となりました。

東大野球部では選手たちが先週末に年内の練習を終え、現在は年始年末のオフに入りそれぞれ帰省するなどリフレッシュして過ごしております。皆様もどうぞよい新年をお迎えください。

来年も変わらぬご声援を、どうぞよろしくお願ひ致します！

2013年総まとめ



メルマガも今年最後の発行になりました。そこでは今回は、今年1年を振り返り、思い出深かったあの試合、あの行事をもう一度思い出してみたいと思います。

1月～JAN～

年末年始の2週間ほどのオフを経て新体制での練習が再始動しました。根津神社に参拝し、今年1年間怪我なく充実した練習ができること、そして何よりもリーグ戦での勝利を祈願しました。

また、27日には桑田特別コーチが東大の練習に初めていらっしやり、ご自身が野球人生で培った理論を披露して下さいました。

2月～MAR～

春休みに入り、練習に専念できる環境となりました。今年も福岡のリョーユーパン球場で合宿を行い、リーグ戦に向けて技術を向上させるのみならず、選手全員が一つ屋根の下で過ごすことで団結力を高めることができました。



↑リョーユーパン球場

↓全員で食べる夕食の様子



東京に帰ってからはたくさんさんのオープン戦を行い、実戦感覚を養うことができました。

4月～APR～

春季リーグ戦開幕！開幕当初から心配されていた打撃がふるわず、早大2回戦では六大学野球史上3回目となる完全試合を喫してしまいました。雪辱を誓って臨んだ後半もあと一打、という試合もあったものの決定打に欠け、1勝も挙げることが出来ませんでした。

6月～JUN～

春季新人戦では14季ぶりに勝利を挙げることができ、下級生の活躍にますます期待の持てる結果となりました。また、東大球場で行われた国公立戦では8年ぶりに優勝することが出来ました。



→リーグ戦でも好投、新人戦で勝利を挙げた辰亥選手

7月～JUL～

7月初めには4年ぶりのソウル遠征が行われました。成均館大との親善試合は2・10と大敗を喫したものの、3度目の親善試合にして強豪相手に初めて得点を挙げる事が出来ました。



→春季リーグ戦開会式の様子

ソウル大との定期戦は10・0と快勝し、定期戦開始時から連勝を6に伸ばしました。試合後にはレセプションが開かれ、ソウル大の選手と英語で会話しながら楽しく交流することが出来ました。

↓ソウル大野球部との記念写真



8月～AUG～

夏休みに入り、思いきり野球に打ち込める環境となり、猛暑の中、毎日必死に練習に取り組みました。8月の前半には10日間にもわたる関西遠征を行いました。遠征先での京都大学との定期戦や七大戦では思うような結果が残せず、悔しい思いをしました。また遠征後はオープン戦をたくさん行うことで実践を積み、秋季リーグ戦に向けて確実な力をつけていきました。



↑京大定期戦レセプションの様子



↑東大球場でのオープン戦の様子

9月～SEP～

秋季リーグ戦開幕！春に続いて打撃がふるわず、開幕から厳しい戦いが続く中、慶大2回戦では慶大投手の前に無安打無得点に終わるといふ屈辱的な敗戦を喫しました。最終カードの立教戦ではようやく打線にも火が付き、最後までどちらが勝つか分からない試合運びとなりましたが、勝利には一歩届かず、秋季リーグ戦でも1勝も挙げることが出来ませんでした。



11月～NOV～

4年生が引退し、有井主将を中心とする新体制が発足しました。新体制のスローガンは「勝」です。新チームになって、厳しいトレーニングによる体力作りに励みながら、それぞれが必要な力をつけるべく日々練習に励んでいます。



→立大1回戦
9回裏に同点
となる適時二
塁打を放った
初馬選手

編集後記

今回の特集では東大野球部の1年間を振り返ってみましたが、いかがでしたでしょうか。いつも温かく応援して下さる皆様のおかげで、私たち東大野球部は今年1年間、充実した活動をする事ができました。本当にありがとうございます。来年も変わらずよろしくお願ひ致します。来年こそはリーグ戦での勝利という形で皆様に恩返しができるよう、部員一同精一杯励んで参ります。メルマガの配信も今年最後となりました。皆様よ、い年末年始をお過ごし下さい。今後とも東大野球部をよろしくお願ひ致します。

お問い合わせ先

〒113-0023
東京都文京区向ヶ丘1-5-9 一誠寮
TEL&FAX 03(3811)5100
メールアドレス office@tokyo-jobs.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望がございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

